

# 30amG-152

セルフメディケーションの重要性と影響力

○平栗 大輔<sup>1</sup>, 村上 美穂<sup>1</sup>(<sup>1</sup>北海道薬大)

## 【目的】

近年、テレビコマーシャル等で「セルフメディケーション」という言葉を聞くようになったが、視聴している生活者がどの程度セルフメディケーションを認知し、実践しているのか、また、セルフメディケーションを実践するうえで、どのような情報を必要としているのかを知るために、日本 OTC 医薬品協会が行ったアンケート結果を利用して解析したので報告する。

## 【方法】

日本 OTC 医薬品協会が朝日新聞社の朝刊広告を利用して行っている生活者のセルフメディケーションに対する認知度などのアンケート調査の結果を許可を得て利用した。2008年4月、2009年5月、2011年4月、2012年4月の4回分について、OTC 医薬品に対する認知度、添付文書の利用率、セルフメディケーション認知度・実践状況などについて、どの程度浸透しているのか、適切なセルフメディケーションを行うための知識はあるのか、一般生活者はセルフメディケーションを行うためにどのようなことを薬剤師に求めているのかを解析ソフトを用いて解析した。

## 【結果及び考察】

セルフメディケーションに対する認知度・実践状況と、OTC 医薬品の認知度及び添付文書の利用率とにそれぞれ相関が認められた。また、セルフメディケーションを推進するためには、薬剤師が身近にいて気軽に相談できる環境を整備する必要があることが示唆された。